

小金井市

東小金井駅

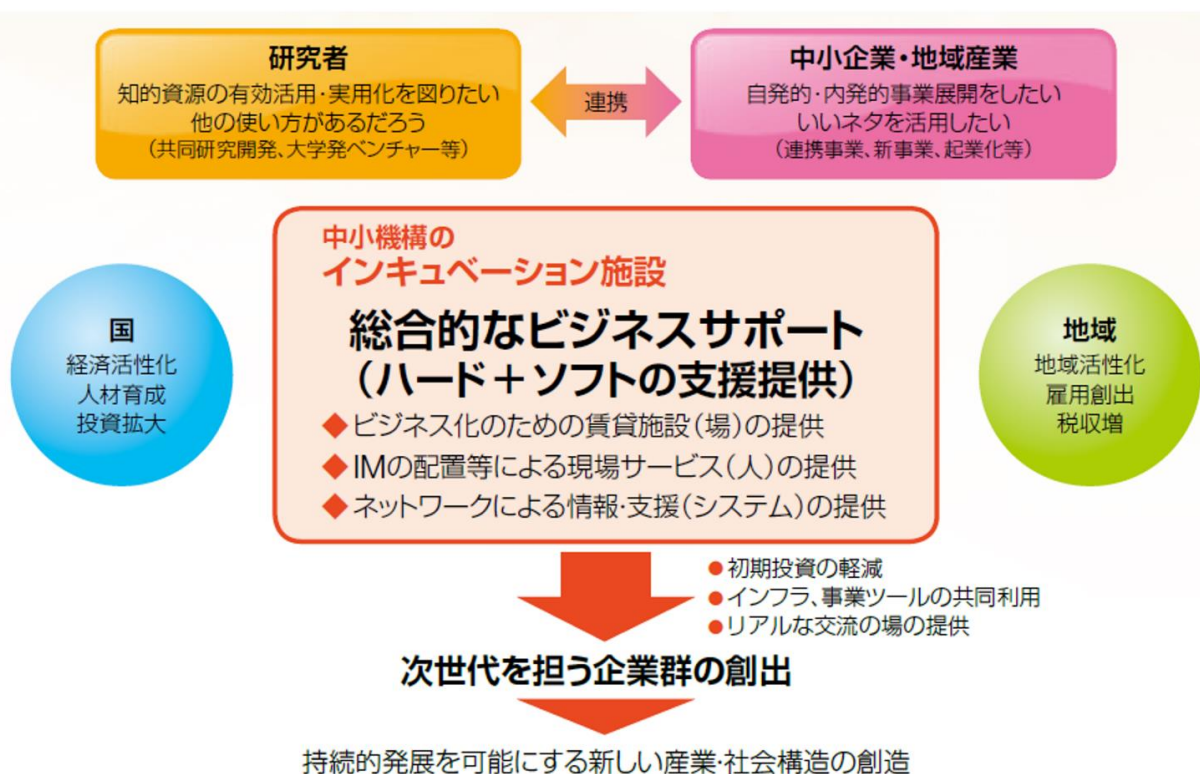
東京農工大学
小金井キャンパス



インキュベーション 研究開発型ベンチャー企業が集う起業家育成施設

農工大・多摩小金井ベンチャーポート

◆ 中小機構/農工大ベンチャーポートの役割



中小企業基盤整備機構（中小機構）とは

組織名：独立行政法人中小企業基盤整備機構

所在地：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

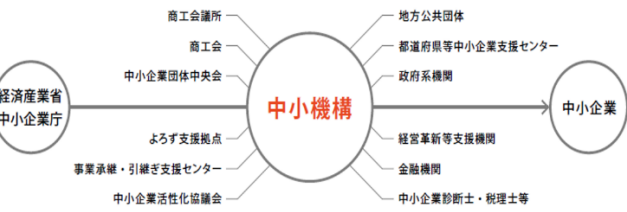
根拠法：独立行政法人中小企業基盤整備機構法

設立：平成16年7月（中小企業総合事業団、地域振興整備公団、産業基盤整備基金の三法人が統合）

基本理念：中小機構は、中小企業や地域社会の皆様により多彩なサービスを提供することを通じ、豊かでうまいのある日本を作るために、貢献致します。

主要拠点：本部（東京）
地域本部（9ヶ所）
中小企業大学校（9校）

関係機関と連携してサポート。



全国に広がるネットワーク



中小機構のインキュベーション施設

中小機構は、公的機関として全国29のインキュベーション施設を運営しています。500を超える入居企業に加え、地域の起業家・ベンチャー企業様に対して、常駐スタッフが、登録専門家3000人を擁する中小機構や産学官のネットワークを総動員して、販路開拓や資金調達などの様々な事業課題の解決をサポートしています。



中小機構のインキュベーション施設 所在地



累計約1,900者入居

農工大・多摩小金井ベンチャーポート

本施設にはインキュベーションマネージャーが常駐し、東京都・小金井市・東京農工大学・経済産業省・各支援機関と連携を取りつつ、起業や創業活動、企業の新事業展開を総合的に支援しています。また、当施設は東京農工大学小金井キャンパス内にあり、研究者の方が大学での研究成果を当施設に持ち込んでビジネス（起業）化を進めたり、企業や個人が研究者との共同研究を行ったり、技術支援を受ける上で非常に便利な施設です。大学からビジネスが生まれる。「新たな技術・アイデアを世の中へ」のビジョンを基に、新たな事業の創出や起業に取り組む方を応援します！



会議室



ウェットラボタイプ居室



廊下



オフィスタイプ居室

■ 目的

農工大・多摩小金井ベンチャーポートは、東京農工大学を始め多摩地区の大学・研究機関の知財・技術を活用したベンチャー企業、中小企業の事業展開を促進することを目的にしております。

■ 施設の概要

東京農工大学連携型起業家育成施設（名称：「農工大・多摩小金井ベンチャーポート」）は、中小企業基盤整備機構が東京都および小金井市から要望を受け、東京農工大学と連携し、同大学の小金井キャンパス内に整備・運営を行う大学連携型起業家育成（インキュベーション）施設です。本施設は賃貸によりご利用いただく施設ですが、入居に当たっては、上記目的に沿って入居審査を行います。

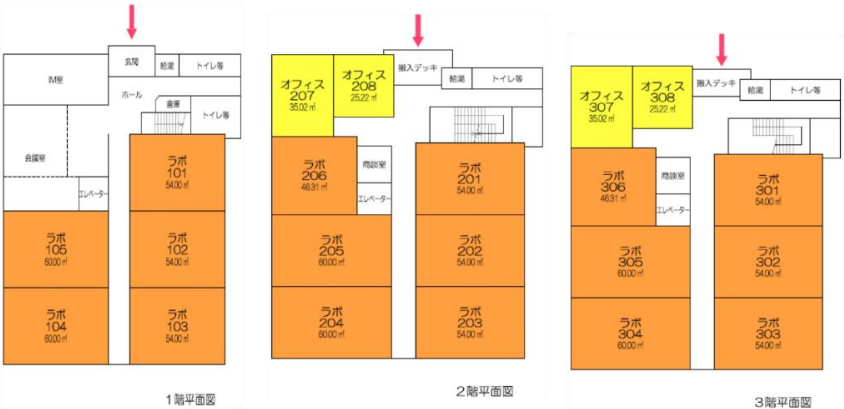
■ 入居対象

本事業の目的に即し、以下のいずれかの方で、かつ経営に必要な資力及び信用を有し、賃料支払いの可能な方とします。

大学発ベンチャー

大学の研究資源・人的資源を活用したベンチャー企業設立に向けた起業計画・事業計画を有する方
大学が有する技術シーズ、知見を活用した第二創業を図る中小企業等
新事業創出を図る中小企業で、かつ、大学との連携を行いたい方

施設レイアウト



施設概要

沿革	
竣工	2008年(平成20年) 8月
入居開始	2008年(平成20年) 10月
建物	
敷地面積	769㎡
延床面積	1,650㎡
賃貸可能面積	1,059㎡
居室数	実験室(ウェットラボ)17室 オフィスタイプ 4室
共用施設	会議室、商談室、応接コーナー

医療・バイオ

(株)メディカル・アーク、(株)エンドファイト

農業

(株)NEWGREEN、(株)CULTA

電子・機械

HIEN Aero Technologies(株)、テクノリサーチ(株)、(株)346

(株)Hakobot、(株)ミッツ、(株)エーラボ、アイラボ(株)、(株)コルラボ

(注) アイラボ(株)、(株)コルラボに関しては、企業の都合により紹介文を掲載しておりません。

101号室

株式会社 NEWGREEN



電子・機械関連

<https://newgreen.inc/>

日本の農業を世界のグリーン市場につなぐ

私たちは、日本の農業の「高単価販売」と「低コスト栽培」をめざし、あらゆるサービスを想像し農業者に提供し、今後の成長が確約される世界のグリーン市場において農業者の所得向上に貢献します。



取締役副社長 中村哲也



アイガモロボの販売

水田の自動抑草ロボットの開発/製造

第11回ロボット大賞農林水産大臣賞受賞



有機米/加工品の販売

約40種の産地・品種をラインナップ。



マイコス米（麦/大豆/そば）

菌根菌を使った栽培体系確立。根っこに共生する菌根菌（マイコ菌）を使い、水が不足するところでも作物を栽培する技術の確立。



未利用資源の有用資材化

下水汚泥、食品工場残渣、きのこと廃菌床、家畜ふん尿などの技術・資材提供。

1997年、日産自動車に入社、製品開発本部、シャシー設計、コーポレート戦略、先行プラットフォーム開発などを歴任。同社在籍中の2012年に通いで稲作のお手伝いをしながら有志による「アイガモロボ」プロジェクトをスタート、2019年に同社を退社し、東京農工大学発ベンチャーとして有機米デザイン株式会社を設立し、取締役に就任。

103・203号室

株式会社 メディカル・アーク



医療・バイオ・アグリ

<https://search.medical-ark.com/>

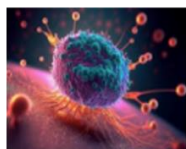


わずかな血液でイヌのがんを発見

ノアの方舟が、洪水という大惨事から大切な命を救ったように、本検査は尊い生命を「がん」という危機から救いたいという願いを込めて『Ark-Test』を確立しました。『Ark-Test』は、血中のエクソソーム内にあるマイクロRNAを検出してイヌのがんを判定する世界初の技術です。現在12がん種および“がんであるかないか”を高精度で判定する「がんリスク検査」の測定が可能となり、1月11日に事業をスタートしました。



代表取締役 伊藤 博



がん細胞から分泌されるExosome



僅かな血液で測定可能



dPCRでTarget miRNAを検出

獣医学博士・東京農工大学名誉教授。北里大学獣医学部獣医学科卒業、東京農工大学の動物医療センターのセンター長として臨床改革を実施。東証グロース上場企業「日本動物高度医療センター(JARMeC)」、先端医療機器を備えた「動物先端医療センター・AdAM」の創業者で、株式会社メディカル・アークを創立した。

104・302号室

HIEN Aero Technologies 株式会社



電子・機械関連

<https://hien-ero.com/>


eVTOL（次世代型航空機）開発を目指す企業

ハイブリッド・システムとユニークな機体により、実用的な航続距離を持つスケラブルなeVTOLの開発に取り組んでいます。世界で開発が進められている電動エアモビリティに共通な、航続距離不足の問題を、日本が先行する技術であるハイブリッド・システムで解決します。



HIENが最終的に目指す、エアタクシーや近距離輸送など事業用途の6人乗りeVTOL



代表取締役CEO
御川 学

- ・機械メーカー研究所を経て、法政大学理工学部機械工学科教授
- ・研究分野：小型航空機・流体騒音
- ・空の移動革命に向けた官民協議会構成員
- ・JUIDA顧問

105号室

テクノリサーチ 株式会社



電子・機械関連

<https://www.tec-research.co.jp/>

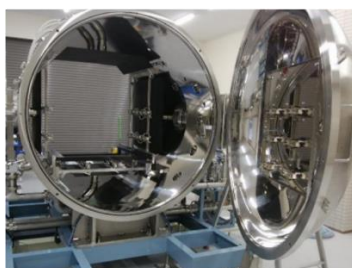
フルカスタマイズオーダーで真空装置を製作いたします。

真空装置をメインに、カスタム製品の設計製造を通じて、お客様の独自のニーズに応えます。私たちは、アイデアの段階から製品の完成まで、密なコミュニケーションを大切に、期待を応える結果を提供します。

< 製品一例 >

熱真空試験機

熱真空試験装置は、宇宙環境を模擬するために使われる装置です。この装置では、低圧（真空状態）と高温または低温の条件を再現し、宇宙空間での機器や材料の耐久性や性能を評価します。



代表取締役 宮崎 智由

お客様のご要望やビジョンをしっかりと聞き、丁寧に形にいきます。すべてのステップでお客様の声を反映させ、唯一無二の特別な製品をお届けします。

202・206号室

株式会社 346



346

電子・機械関連

<https://346design.com/>

デザイン開発・製造総合コンサルティング企業

346（サンヨンロク）は、事業企画、設計、量産立ち上げ、ブランディング等、製品開発におけるほとんど全ての領域でデザインを活用することにより、分断的で非効率な従来型プロセスを変革し、一貫性のある革新的な製品の創出に取り組んでいます。

株式会社S'UIMIN
睡眠計測サービス



< 商品開発の一例 >

自社製品 DAVI Can Opener



アサヒビール株式会社
本格泡リッチサーバー



三枝 守仁
創業者 共同代表

工業デザイン事務所、株式会社OKIプロサーブを経て、株式会社346創業。業務用飲料機器、OA機器などの開発を経験。専門学校桑沢デザイン研究所 PD 分野非常勤講師 / 早稲田大学大学院経営管理研究科 (MBA) / 一橋大学大学院経営管理研究科イノベーション・政策プログラム在籍

204号室

電子・機械関連

株式会社 **Hakobot**<https://hakobot.com/>

何でも載せられる しっかり運ぶ

宅配クライシス解消のため、ロボットでラストワンマイルの自動化を目指し、ゼロから自動配送ロボットを開発しています。四輪駆動で走破性を高めることで、あらゆる路面環境で様々な荷物を運びます。

**自動配送ロボット「Hakobot」**

- ・荷室は用途に応じた変更が可能なセパレート設計
- ・四輪駆動四輪操舵（4WD4WS）で優れた走破性を実現

**代表取締役 大山 純**

Hakobotの自動配送ロボットは、低速・小型に分類される自動配送ロボットで四輪駆動四輪操舵を実現。2024年7月には国内初の100kgの工業製品を搬送する公道実証実験に成功。今後もあらゆる用途での自動配送ロボット活用を目指していきます。

207号室

電子・機械関連

ミッツ 株式会社

<https://mits.co.jp/>

プリント基板加工機と3Dプリンターメーカーとして国産にこだわり、工業における研究や試作の発展を支えます



創業40年を超え、小金井市に移転して30年以上経営を続けるミッツ株式会社は、プリント基板加工機の製造・販売で発展してきました。近年では3Dプリンタを事業内容に加え、農工大・多摩小金井ベンチャーポートで3Dプリンタの画期的な機能を持つ樹脂材料の開発に取り組んでいます。

プリント基板加工機、3Dプリンタともに、高品質な製品を多くの企業や官公庁、教育機関へ納入するミッツ株式会社は、産業における開発の現場を支える企業です。

**代表取締役 竹谷 俊樹**

ミッツ株式の製造業として、地域社会の発展に貢献会社は小金井市発します。

208・303号室

医療・バイオ・アグリ

株式会社 **CULTA**<https://culta.jp/>

気候変動時代のプレミアム農作物ブランド

気候変動が地球の環境を大きく変えようとしている今、新環境に適応した最先端の高速改良技術で高品質なブランド品種を開発します。

ゲノム情報AI



植物工場 人工環境



高品質なブランド品種



+ =

購入・流通・マーケティング窓口を一体化した専門農協を設立し、世界中の農家と連帯。品種開発から販売までを垂直投合するEnd-to-Endのモデルで、生産者の収益向上と、消費者への高品質な農作物提供を実現します。

**代表取締役 野秋 収平**

東京大学大学院農学生命科学研究科卒。研究はスマート農業分野。農業分野への画像解析技術の応用で、修士（農学）を取得。在学中に、タイの農業スタートアップ、東京都中央卸売市場、イチゴ農家での業務経験で、グローバル農業ビジネス、農業生産、流通を学び、株式会社CULTAを学生時代に設立。1993年生まれ。静岡県沼津市出身。

301号室

株式会社 エンドファイト

<https://endo-phyte.com/>



医療・バイオ・アグリ

あらゆる環境下で 持続可能且つ高付加価値な緑化を実現

株式会社エンドファイトは、「あらゆる環境における高付加価値な緑化を実現する」をビジョンに掲げた筑波大学・茨城大学発スタートアップです。土壌微生物「DSE」の大規模ライブラリーを用いたあらゆる環境下での高付加価値な緑化の実現と、企業や自治体と連携した新たなグリーン事業共創のエコシステム構築を目指します。



共同創業者 代表取締役兼CEO
風岡 俊希

外資・内資系コンサルティングファームにおいて産官学の新規事業戦略立案、実行支援に従事。その後、創業ベンチャーの経営企画、大手IT企業のアフリカにおける事業立ち上げ支援、政府系VCにおける大学発スタートアップの投資、創業・経営支援や自治体のスタートアップエコシステム構築支援を経て、エンドファイトの代表取締役兼CEOに就任。

304・305・307号室

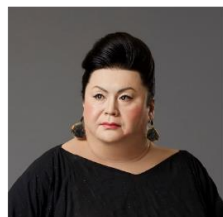
株式会社 エーラボ

<https://www.a-lab-japan.co.jp/>



株式会社エーラボでは、独自の空圧制御システム、オリジナルのスキン素材と造形力によるアンドロイドロボットを製作しています。アンドロイドロボットは、エンターテインメントや研究機関などさまざまな領域で活用されています。2025年大阪・関西万博に向けて、石黒浩がプロデュースするシグネチャーパビリオン「いのちの未来」におけるアンドロイド開発を担当しています。

これまでに製作したアンドロイド



Matsukoroid



漱石アンドロイド



ERICA



アンドロイド観音マインダー



渋沢栄一アンドロイド

弊社では共同研究の開発パートナーを募集しています。ご興味のある方はウェブサイトよりお問い合わせください。

代表取締役
三田武志

◆ 中小機構が提供するアクセラレーション・プログラム



■問い合わせ先

創業・ベンチャー支援部
ベンチャー支援課
TEL: 03-5470-1574



◆ 中小機構が提供するビジネス・マッチングサービス

シェアテック
J-GoodTech

「中小企業の皆様の売り上げ拡大・新しい取引先確保、海外展開を応援する」

ビジネスマッチングサイトです

年間10,000件のビジネスマッチングが行われています

国内中小企業

約26,000社

国内外支援機関

約900機関

ニーズ等への提案

直接の商談

アドバイザーによるマッチングサポート

企業情報の発信

大手企業

約1,000社

海外企業

約8,000社

詳細・新規登録はこちら



問合せ先

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

農工大・多摩小金井ベンチャーポート

〒184-0012 東京都小金井市中町2-24-16

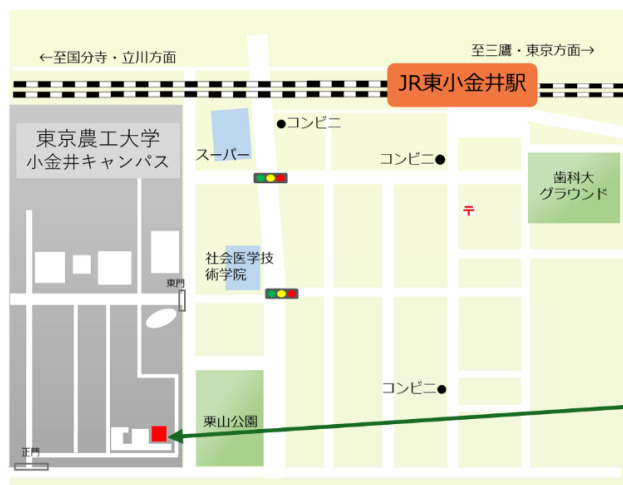
TEL: 042-382-3855 E-mail: ntkvp-info@smrj.go.jp



アクセス

アクセス 電車の場合：JR中央線「東小金井」nonowa口より、徒歩約7分

車の場合：中央自動車道「調布インター」立川方面下車 約15分



JR中央線 東小金井駅



東京農工大学
小金井キャンパス 東門

農工大・多摩小金井
ベンチャーポート

